

運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社神苑	事業所名	複合型サービス事業所 西王母
所在地	(〒866-0882) 熊本県八代市松江本町 2-50		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

通い、泊まり、訪問看護、訪問介護をその方に合った組み合わせで御利用していただき、在宅生活の継続を支援しております。通いではその方にあったリハビリを行い、歩行の維持と改善、下肢筋力の低下防止、下肢、腕などの可動域向上をめざし、無理なく楽しんで頂くよう日々頑張っております。リハビリの後はフットマッサージ、ウォーターマッサージを利用し、身体をほぐして頂いています。泊まりは計画的な泊まりの他に、緊急な受け入れも行っており、馴染みのスタッフにて対応します。訪問介護にて食事介助、排せつ介助、外出支援、口腔体操など生活面での困りごとの支援と楽しみの支援を行っております。又、緊急な訪問や買い物の支援などを行っており、在宅生活の維持に努めております。訪問看護が必要な方は、主治医の訪問看護指示書に添った処置を在宅で行っています。又、体調異常など緊急の訪問看護も行っております。

本年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したために面会や外出を緩和してきました。感染予防策を十分に行いながら八代文化祭や妙見祭見学、ボランティアの方の音楽祭など地域の方々との交流も少しずつ増やしています。又、看取りケアを積極的に行っております。当施設で自分らしく人生の最終段階を迎えたいと希望される方には、ご利用者様、家族様の意向に添いながら、感謝と尊厳を持ち、人の温もりを感じる事が出来るように最期まで看護、介護を提供しております。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価	西暦 2023 年 12 月 31 日	従業者等自己評価	(11) 人	※管理者を含む
---------	---------------------	----------	----------	---------

実施日		実施人数	
-----	--	------	--

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 年 月 日	出席人数（合計）	人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input type="checkbox"/> 自事業所職員（ 人） <input type="checkbox"/> 市町村職員（人） <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員（_人） <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者（ 人） <input type="checkbox"/> 利用者（_人） <input type="checkbox"/> 利用者の家族（_人） <input type="checkbox"/> 知見を有する者（_人） <input type="checkbox"/> その他（__人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
1. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	・引き続き「感染予防対策」「認知症について」「権利擁護」「身体拘束」「災害対策」などの研修を行い日ごろの支援を振り返り職員能力の質の向上に努め、より良いサービスに繋げ	・毎月外部、内部にて「感染症」「認知症」「権利擁護」「虐待/身体拘束」「看取りについて」などの研修を受けた。 ・カンファレンスにて業務についての困りごと	・成年後見制度を利用されている利用者がおられるため、後見制度に関する勉強会は身近なものとして考えることができている。 ・感染症、認知症、虐待/身体拘束など研

		<p>ていく。</p> <p>・訪問介護、訪問看護の回数が増え業務内容も細かくなっているなか、職員の健康状態の把握や働きやすい環境作り、ハラスメント研修を行っていく。</p>	<p>や改善策などについて話し合っている。</p> <p>・八代地域リハビリテーション広域支援センターより「腰痛予防、腰痛改善について」の講習をうけた。腰痛を持っている職員が多い中、腰痛を予防又は改善する勉強ができた。</p>	<p>修で学ぶ機会を得ており、日々のケアに取り入れることができている。</p> <p>・日勤での問題、夜勤での問題などその都度どうしたらよいか職員同士で話し合いを行ったり、先輩職員がアドバイスを行ったりしている。</p> <p>・職員の体調不良時は勤務交代や変更がスムーズにできている。</p>
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>・訪問介護、看護やデイサービス時の情報、自宅の情報など本人の状態変化の把握を迅速に行い、職員や多職種で共有し、個々にあったサービスを随時更新する。</p>	<p>・身体状況の変化で在宅生活が難しくなっている方の家族の話を聞き、サービスの追加、時間の延長、次の住まいの提案と情報提供などを行っている。</p> <p>・本年度は現在1名のターミナルケアを行っている</p>	<p>・生活の状況、病気の状況の変化を早期に気づき対応できるように話し合えるようになった。</p> <p>・ターミナルケアの家族がどうすれば一緒に過ご</p>

			<p>る。清潔保持として定期的な清拭、口腔ケア、毎日の状態観察と主治医との連携を行った。又、家族の意向確認、緊急時の連絡体制も共有し、スタッフの不安解消を行った。家族様もコロナ感染予防を徹底していただき面会にて一緒に過ごす時間を持っていたいでいる。</p>	<p>しやすいか考えるようになった。</p>
	<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<p>・本人、家族、主治医、地域、行政、介護士、看護師などその方に係わっている多機関や多職種との連携を密にしより良いサービスを行っていく。</p>	<p>・有料老人ホームや自宅への訪問看護・介護を行い在宅での生活支援を切れ目ない支援の継続が出来ている。</p> <p>・訪問診療時には看護師より主治医へ状態報告を行い、薬や指示の変更などスタッフ全員に伝え共有できている。又かかりつけ薬局に</p>	<p>・スタッフ同士日々のケアの変更、利用者の状態把握など共有できるようになった。</p>

			も薬などの相談を行うこともあり多職種にて連携出来ている。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア、介護の必要な方々の相談援助や現状の体制に応じた受け入れを行い安心して暮らすの実現を目指す。 ・今後も地域の行事の参加、緊急避難の受け入れなど行い地域の中に根付いた施設を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も「喀痰吸引」「経管栄養」の実技講習を西王母内で行い、1名の「認定特定行為業務従事者」としての認定を受けた。 ・本年度は八代文化祭や妙見祭の見学、地域のどんどやの参加など地域との交流の機会を増やすことができた。 ・台風や大雨などの予報が出ると近所の方に当施設の避難を呼びかけた。 ・近所の高齢者独居の方が体調を崩された時救急搬送や宿泊、家族様への連絡などの支 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの本人、家族の意向に寄り添えるようにカンファレンスなどで話し合えるようになってきている。 ・地域行事の情報などをそれぞれが持ち寄るようになった。 ・地域の方に災害時の緊急避難場所としての開放などの声掛け、備蓄品の点検など災害に対する対応を考えるようになった。 	

			援を行った。	
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	・積極的なターミナルケアの受け入れ、利用者個々の緊急時の対応、災害時の避難訓練などの継続ができるように随時更新し利用者がより安心できるくらしの実現を目指す。	・利用者の緊急時に主治医、家族に連絡し状態報告を行い、救急搬送、救急外来受診などスムーズな対応が出来た。	・総合的に利用者一人一人が安心して暮らすことができる環境づくりを日々考えている。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間の連携、情報共有を行っていただき、ケアの質の向上に努めてください。 ・おおよそ出来ている ・運営推進会議で、地域の代表者などにも意見を促しているのが見て取れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・BCPに基づいて災害時の緊急時対応の訓練や環境を整えていく。 災害備蓄品の確認と保存方法の明確化、安否確認方法の明確化、連絡先リストの再確認、避難箇所、避難方法などの確認をできるところから行っていく。又災害時の地域への貢献を考える。

		<p>・避難訓練などの活動報告が会議などで確認できました。</p>	
<p>II. サービス提供等の評価</p>	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p>	<p>・看護小規模多機能型居宅介護というサービスの強みを生かすために、両職種の連携を高めていってください。</p> <p>・訪問などの中で利用者の変化に沿ったケアを行えるよう、日ごろから利用者の状況を確認していただきますようよろしくお願いします。</p> <p>・利用者への適切なケアの観点から、情報収集及びそれらの反映を引き続き、宜しくをお願いします。</p> <p>・運営推進会議にも積極的に参加されているのが分かります。日ごろから連携を高め、協力体制を密にする今の関係を引き続きよろしくをお願いします。</p> <p>・お互いの業務内容を把握し、そのうえで利用者へのプランが向上するようお互い協力を続けてください。</p>	<p>・利用者個々の日々変わる情報の共有を図り、利用者のやりがいや生きがいを考え、生活の充実感を得ていただける支援を行う。</p> <p>・利用者個々の尊厳を尊重した言葉かけや援助の方法を考え援助を行う。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの質問には今後とも真摯に対応を行っていただきますよう よろしく願いいたします。 	
<p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事故などの報告において、その後の対応が記載されている方もおられますので、今後もわかる範囲での報告をお願いします。 ・利用者の様態の変化に対応が出来るよう常日頃より意識し対応ができるよう心掛けておいてください。 	<p>訪問介護、看護やデイサービス時の情報、自宅の情報など本人の状態 変化の把握を迅速に行い、介護士や看護師、他多職種 で共有し、個々にあったサービスを随時更新する。</p>
<p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おおよそできているが、地域における役割の周知や地域住民へのサービス提供の充実を更に望みます。 ・今後とも対応職員の体制強化を宜しく願いいたします。 ・家族への支援についても職員への研修などを行い体制強化に努めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りに関する研修を積極的に行い、看取りを必要とする要介護者の受け入れができる体制を整え家族と一緒に安心して看取りができる施設を目指す。

III. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの周知は今後の課題として職員への周知をお願いします。 ・課題に対し、対応を行い今後のケアの向上に努めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に地域包括ケアシステムの周知を行い、地域との交流を深め、いろいろな場面で地域に貢献できる施設を目指す。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおそ できている	あまりでき ていない	全く できていない		
I 事業運営の評価 [適切な事業運営]							
(1) 理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							

1	<p>○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている</p>	○				<p>おおよそ出来ている</p>	<p>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</p> <p>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
2	<p>○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している。</p>		○			<p>おおよそ出来ている</p>	<p>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</p> <p>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</p>
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・主治医との連携、在宅での療養や介護についての支援、終末期について、サービス計画、介護負担軽減、地域サービスとの連携などについて理念を上げており、利用者や家族、地域にとって必要な存在となることを謳っている。</p> <p>・カンファレンスにて唱和し日頃の援助の振り返りを行っている。</p>		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・カンファレンスで理念の唱和を行っている。</p> <p>又、常に職員の目の届くところに提示し、意識付けを行い、理念の共有を図っている。ケアに</p>					

		行き詰ると立ち返り確認できるようにしている。		
(2) 人材の育成				
① 専門技術の向上のための取組				
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	○		<p>おおよそ出来ている</p> <p>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</p> <p>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</p> <p>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・資格取得、キャリアアップに対しての話し合いを行い支援している。</p> <p>・新人職員に対して担当職員がマンツーマンで育成教育を行っている。</p> <p>・看護師資格を取得するために八代看護学の学業支援を継続している。本年度卒業し看護師免許を取り 4 月より看護師として就業する予定である。</p> <p>・西王母で喀痰吸引などの実技演習を行い、</p>		

		「認定特定行為業務従事者」（喀痰吸引など）として1名が認定を受け登録を行った。		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外の機会を確保している	○ <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本年度は内部・外部研修にて「高齢者虐待・身体拘束」「口腔ケア」「権利擁護」「差別解消」「看取りについて」「ハラスメント・法令遵守」「リハビリテーション」「認知症」「感染症」などを行った。 ・実践者研修を1名受け、介護力の向上とリーダーとしての指導力の向上の勉強の機会を確保できた。	おおよそ出来ている	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保				

5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間の連携、情報共有を行っていただき、ケアの質の向上に努めてください。 ・おおそ出来ている 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3) 組織体制の構築						
① 運営推進会議で得られた意見等の反映						
6	○ 運営推進会議で得られた要	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で、地域の代表者 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「得られた要望・助言等のサービスへ

	望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・本年度より対面で定期的に会議を行っている。 ・運営推進委員会の評価などでコメントを頂きサービスに反映している。			などにも意見を促しているのが見て取れます。 ・おおそ出来ている	の反映」の視点から、充足度を評価します
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備						
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている		○		・おおそ出来ている。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・管理職、リーダーとの定期的な面談を行い、仕事に対する悩み要望を話し合っている。 ・職員の定期的な健康診断を行っている。 又体調不良時などの勤務の変更など臨機応				

		<p>変に行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は職員同士協力しながら休憩時間の確保を積極的に行っている。 ・研修のための就業時間の配慮と看護学校の学業支援を行っている。 ・夜間のオンコール体制を取っており夜間帯の異常時にすぐ対応できるようにし夜勤者のメンタル面でのサポートを考えている。 		えられます
(4) 情報提供・共有のための基盤整備				
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備				
8	<p>○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有で</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調の変化、薬の変更、食事内容など家族 	<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

	きるよう工夫されている	からの申し送りなど迅速な情報の共有の為、タブレット端末の環境を整え、いつでも確認できるようにしている。他に連絡ノートも活用し利用者に関する情報や注意事項を行っている。又、業務の伝達事項を申し送り時に報告し共有化を図っている。			
(5) 安全管理の徹底					
① 各種の事故に対する安全管理					
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な		○		
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u>			
		・個人情報保護規定を作成、個人情報の保		・おおそ出来ている。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例え

	対策が講じられている	<p>護に努めている。</p> <p>・ヒヤリハット、事故報告については敏速に職員全員と共有し、対策を考えるようにしている。</p> <p>カンファレンスでも再度検討している。</p>		<p>ば「医療・ケア事故の予防・対策」、</p> <p>「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>
② 災害等の緊急時の体制の構築				
10	<p>○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている</p>	<p style="text-align: center;">○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・有事の際に事業を継続できるように BCP 作成の完成をしたうえで、事業所の状況に合わせ修正を行えるように計画中である。</p> <p>・連絡リストの作成、夜間オンコール体制、防災及び災害発生時における緊急対応の指針とマニュアルの作成など緊急対応の体制を整</p>	<p>・避難訓練などの活動報告が会議などで確認できました。</p> <p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</p>

		<p>えているが特に夜間の緊急時対応に不安を</p> <p>持っている職員が多い。</p> <p>・緊急時の連絡対応の訓練を行っていない。</p>		
II サービス提供等の評価				
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供				
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成				
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施				
11	<p>○ 在宅時の利用者の生活状況</p> <p>や家族等介護者の状況等を</p> <p>含む、利用者等の 24 時間の</p> <p>暮らし全体に着目したアセスメ</p> <p>ントが行われている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・サービス計画書の変更時期に本人、家族に</p> <p>アンケートをとり生活状況や介護力、要望を</p> <p>聞き取り、対応を考え計画書に反映するよう</p> <p>にしている。</p> <p>又、利用者の身体、精神的症状の変化にて</p>	<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全</p> <p>体に着目したアセスメント」の充足度</p> <p>を評価します</p> <p>✓ ケアが包括的に提供される看護小規</p> <p>模多機能型居宅介護においては、家</p> <p>族等も含めた 24 時間の暮らし全体</p>

		在宅生活が難しい場合は今後の生活を一緒に考えるようにしている。 ・年度末に利用者の家族全員にアンケートを取り、意見を反映している。			に着目したアセスメントが必要となります	
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○			・看護小規模多機能型居宅介護というサービスの強みを生かすために、両職種の連携を高めていってください。 ・おおそ出来ている。	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成						
13	○ 家族を含む利用者等の考えを	○			・おおそ出来ている。	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作

	把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人の状況変化時、ケアプラン変更時などに利用者、家族より意向、生活状況を聞き取り、現在困っている事、本人がしたい事、目標にするものを一緒に考え、計画に反映している。 				成]について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている		○		・おおそ出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成]について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む]ために、必要点である
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス計画の他に、個別サービスを立て、個々にあたりハビリ、生活機能の維持、精神的安定、その方の嗜好を考え計画している。 ・個々の利用者が有する能力をいかに活用できるかを考え生活機能の維持を心掛けてい 				

		<p>る。</p> <p>・個々の楽しみの提供や機能訓練の機会が充実していない時があり日常的に提供できるように従業員の人数、動き、時間配分など再度見直している。</p>		<p>といえます</p>
<p>③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成</p>				
15	<p>○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・入退院で明らかな状況変化や、リスクを予測し、必要とされる対象者に関しては、かかりつけ医に相談をし、助言や指示を受け、スタッフに伝達している。</p> <p>・転倒リスクに対する下肢筋力の低下予防や</p>	<p>・訪問などの中で利用者の変化に沿ったケアを行えるよう、日ごろから利用者の状況を確認していただきますようよろしくお願いします。</p> <p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測な</p>

		認知症の進行予防、病状の進行具合による 観察個所などのカンファレンスで話し合いサービ ス内容に入れるようにしている。			どを踏まえて計画を作成することが重 要です
(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践					
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映					
16	○ サービス提供を通じた継続的な アセスメントにより、利用者等の 状況変化を早期に把握し、計 画への適宜反映が行われてい る	○		・利用者への適切なケアの観点か ら、情報収集及びそれらの反映を 引き続き、宜しく願います。 ・おおよそ出来ている。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反 映」の2つの視点から、充足度を評 価します
③ 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映					

17	<p>○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している</p>	○				<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
<p>③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有</p>							
18	<p>○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている</p>	○				<p>・運営推進会議にも積極的に参加されているのが分かります。日ごろから連携を高め、協力体制を密にする今の関係を引き続きよろしく願います。</p>	<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>

		<p>行い、情報提供を行っている。</p> <p>・歯科や薬剤師（居宅療養指導）、福祉用具貸与事業所など関係者に担当者会議の参加をしてもらい情報共有し連携を密に行っている。</p>	<p>・おおよそ出来ている。</p>	
<p>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</p>				
<p>① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供</p>				
19	<p>○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・看護職では訪問看護時に訪問看護指示書内容に沿った対応を行っている。その内容や状態を看護職より介護職員、ケアマネに報告し情報共有している。</p> <p>・利用者の体調変化があった場合に介護・看</p>	<p>・お互いの業務内容を把握し、そのうえで利用者へのプランが向上するようお互い協力を続けてください。</p> <p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のため</p>

		<p>看護職より全職員へ報告を行い、看護職より対応、観察要件を指示している。</p> <p>又主治医へ看護職より報告を行っている。</p> <p>・介護では訪問時に在宅での排泄、食事、服薬、体調観察などの支援、通所では入浴時の全身状態、動きの観察、食事や排泄の状態観察、普段との様子の違いなど多くの気付きなど観察記録し生活の質の維持向上を目指し看護職と共有し支援している。業務の状況により役割分担ができています。</p>				<p>めに、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが必要です</p>
20	<p>○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、</p>		○		<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・1回/月と臨時のカンファレンス、タブレット記</p>				

	<p>両職種間の連携が行われている</p>	<p>録の確認、朝の申し送り、又は申し送りノート、職員メール等利用し、利用者の状態をスタッフ全員で共有することを心がけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職が看護職の仕事内容を把握することによって医療的な方面からの視点を身につけることができ、医療的情報を提供することができ、体調悪化の早期発見につながっている。 ・夜勤時に利用者の体調異常や気になることがあると看護職員に連絡を取れるようにオンコール体制を取っている。 		
<p>② 看護職から介護職への情報提供および提案</p>				

21	<p>○ 看護職から介護職に対して、 疾病予防・病状の予後予測・ 心身の機能の維持回復などの 観点から、情報提供や提案等 を行っている</p>		○			<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</p> <p>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます</p>
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	<p>○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている</p>		○			<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p> <p>✓</p>
<p>[具体的な状況・取組内容]</p> <p>・管理者、ケアマネジャーを通して初回面接時サービスの内容について説明している。重要事項説明書などで、当事業所の理念・サービス</p>							

		<p>の仕組みについて説明を行い十分理解していただいたうえで契約している。不明な点があれば随時対応している。</p>		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明				
23	<p>○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・作成した計画案を利用者、家族に説明し意向にあったものかを確認し理解を得ている。追加、希望などがあった場合は、訂正、追加を行っている。</p>	<p>・家族からの質問には今後とも真摯に対応を行っていただきますようよろしくお願いいたします。</p> <p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します</p>
24	<p>○ 利用者等が行う医療処置や医</p>	<p>○</p>	<p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 「利用者等の理解」について、充足度</p>

	療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・医療処置が必要な方は、登録時に病院より指導を受け、注意点など十分理解し、本人家族に分かりやすく説明し理解を得ている。 （血糖測定、在宅酸素療法など） ・口腔内潰瘍の洗浄、体調の悪化時の点滴や服薬の追加など本人や家族に説明を行い主治医やかかりつけ薬局と連携している。		を評価します
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有				
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	<input type="radio"/> <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・利用者、家族からの聞き取りを行い、可能な限り本人、利用者の希望、意向を反映するようになっている	・おおそ出来ている。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します

		<p>・送迎時間の変更、デイサービスの変更、緊急時の訪問、家族の仕事に合わせたデイサービスの時間延長などその方や家族に合わせた臨機応変な利用の支援を行っている。</p>					
26	<p>○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている</p>	○				<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・家族の介護力が何処まで対応できるか、または本人の一人暮らしを何処まで支援できるか家族と話し合い、新たな問題が生じた場合は利用者、家族を含めその都度話し合っている。又、在宅生活の限界時期などを本人や家族の意向を伺い、ホームへの入居、介護施設</p>					

		<p>への申し込みなど一緒に考え動いている。</p> <p>・最期まで現在の居場所を変わらず生活できるように訪問看護、訪問介護にて毎日の体調観察、食事、整容、排せつなど生活全般を援助しながら家族との関わりを深めている。</p>		
27	<p>○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・現在 1 名のターミナルケアを実施している。ターミナルケアの利用者において主治医からの病状や予後の説明時に家族と共に立会いを行っている。利用者、家族の不明な点はないか主治医に確認している。</p> <p>主治医に状態を報告し、状態変化に対応で</p>	<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の 2 つの視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」</p>

		<p>きるように職員で共有している。また家族との連絡も密に行いメンタル面での援助を行っている。</p> <p>・夜間のオンコール体制を取っており夜間帯の異常時にすぐ対応できるようにし夜勤者のメンタル面でのサポートを考えている。</p>		
2. 多機関・多職種との連携				
(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供				
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行				
28	<p>○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・入院時病院の連携室、担当看護師と利用者の情報共有を行っている。又退院時のカンファレンスへ参加し主治医から状態説明、指</p>	<p>・事故などの報告において、その後の対応が記載されている方もおられますので、今後わかる範囲での報告をお願いします。</p>	<p>✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病</p>

		<p>示をもらっている。</p> <p>・在宅復帰が難しい方、本人家族が在宅復帰を望まれない方には本人家族の要望を踏まえ次の住家を一緒に考え探している。</p>	<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>院・施設等との継続した情報共有」</p> <p>などの取組が考えられます</p>
<p>② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有</p>				
29	<p>○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができる</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・契約の段階でかかりつけ医を明確にし、緊急時の連絡、相談を行っている。夜間連絡がつかない主治医や主治医不在の場合は救急搬送、救急外来受診となる。</p> <p>緊急搬送先は予め家族より聞き取り、記載してある。</p>	<p>・看取りの取り組みについても記載されてはいかがでしょう。</p> <p>・利用者の様態の変化に対応が出来るよう常日頃より意識し対応ができるよう心掛けておいてください。</p> <p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</p> <p>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</p>

③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	○				・できていると思われますので引き続きよろしくお願ひします。 ・おおよそ出来ている。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・全ての利用者の緊急時の対応を登録時に家族に聞き取り、カンファレンスなどで申し送っている。緊急時の緊急搬送先、連絡体制（家族、主治医）は全員すぐ分かるようにしている。					
(2) 多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる	○				・おおよそ出来ている。	✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・新型コロナウイルス感染が5類に移行し、本					

	<p>包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている</p>	<p>年度より対面にて会議を行っている。地域の方に地域の情報を聞くことができた。又地域の行事にも参加できた。</p> <p>・包括支援センターより出張講習の提案と実施や運営推進会議時に町内会長より本年度より始められたいいきサロン開催の情報などいただいた。</p>		<p>ート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っているなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画				
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案				
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信				
32	<p>○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・職員に対して運営推進会議の内容は書類にて報告している。</p>	<p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>

		適宜に報告するようにしており、運営推進会議での意見は改めてカンファレンスにて報告している。		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・台風情報が入ると近所の方に避難場所の提供の声掛けを行った。 ・施設行事のチラシを配布し地域の方の参加を呼び掛けた。 ・高齢者夫婦の世帯の方に、1回/週の移動販売が来ていることをお知らせし、近くで買い物ができることを呼びかけた。 	<p>おおそでいているが、地域における役割の周知や地域住民へのサービス提供の充実を更に望みます。</p> <p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p> <p>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</p> <p>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</p>
(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮				
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供				

34	<p>○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している</p>				○	<p>・訪問看護ステーション未開設</p>	<p>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</p> <p>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							

35	<p>○「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている</p>	○	<p>・今後とも対応職員の体制強化を宜しくお願いします。</p> <p>・おおそ出来ている。</p>	<p>「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	<p>○「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている</p>	○		<p>✓「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p>
<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・日中は看護師が常駐している為、痰吸引の受け入れには問題ないが、夜間の対応が現在は難しい。</p> <p>・西王母で喀痰吸引などの実技演習を行い、「認定特定行為業務従事者」（喀痰吸引など）としての1名が認定を受け登録を行った。</p> <p>積極的な体制を少しずつ整えている。</p>		<p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>受け入れる体制が整っていない。</p>		

						<p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
37	<p>○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている</p>	<p>○</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>・終末期に入った利用者の家族様と看取りに関する話し合いを丁寧に行い、家族、主治医、看護職、介護職の連携を十分行うようにしている。今後も家族の要望があれば受け入れる体制ができている。</p>			<p>・家族への支援についても職員への研修などを行い体制強化に努めてください。</p> <p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
<p>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</p>						
<p>① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解</p>						
38	<p>○ 管理者および職員が、行政が</p>			○		<p>・今後の課題として職員への周知</p> <p>✓ 「内容等の理解」について、その充足</p>

	介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している					をお願いします。 ・おおそ出来ている。	度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している		○			・おおそ出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」

		・受け入れの地域に関しては送迎時間を考慮して家族様と話し合いを行い受け入れている。			
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等					
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている		○	<p>・課題に対し、対応を行い今後のケアの向上に努めてください。</p> <p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>地域の高齢者独居の方の体調が悪くなり救急搬送や、市外の家族様が来るまで泊っていただき対応を行った。</p> <p>包括支援センターの方と連携をとり対処した。</p>			

					期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」	
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている		○	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者自宅の近隣の方々に在宅での様子を伺い対策を考えた。（夜間に隣の家に行き携帯電話の充電器がない、テレビが見つからないなどの訴えがあり対応していただいた。） ・台風、大雨などの災害時の対策として施設を近隣住民の避難所として呼びかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も対応策の検討を引き続き行ってください。 ・今後の連携に期待します。 	期待されます ✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合

				は、「全くできていない」 ✓
--	--	--	--	-------------------

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ 結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている ② 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない <u>[具体的な状況・取組内容]</u> ・訪問看護、介護で在宅生活の維持を目標にするために掃除、体調管理、リハビリ、配薬などの対応を行い、安心できるようにその方の目	・利用者の適切な目標を設定し、看護小規模多機能型居宅介護の特性を生かした対応をお願いします。 ・おおそ出来ている。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		標にあった支援を考えている。		
④	在宅での療養生活の継続に対する安心感			
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・緊急の状態悪化時に主治医との連携、看護職の指示や訪問などを行う事で利用者やその家族の安心感が得られている。</p> <p>・経管栄養、点滴、インスリン注射、訪問看護でのリハビリなど医療が必要な方の在宅療養</p>	<p>・引き続き、対応をお願いします。</p> <p>・おおそ出来ている。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		支援を行っている。		
44	○ サービスの導入により、在宅での 看取りを希望する利用者および その家族等において、在宅での 看取りに対する安心感が得られ ている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>② 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><u>【具体的な状況・取組内容】</u></p> <p>・現在有料老人ホーム喜八を在宅とした利用者の看取りを行っている。訪問介護、看護を毎日行い、家族、主治医、看護職、介護職との連携を密に行い、本人家族の安心感が得ら</p>	<p>・一般住宅での看取りなども 検討もしくは、運営推進会議 で課題点を報告していただければ幸いです。</p> <p>・おおよそ出来ている。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		れている。		